



於：2020年2月6日（木）午前10時～11時半 四日市市立図書館 2階視聴覚ホール

絵本の好きな人が集まり、絵本について気軽に話をしよう。そして、絵本をもっと好きになり、子どもと一緒に楽しめるようになるろう！と行っている「おしゃべりえほんの会」。2月は一年に一度の、新刊絵本の回です。

今回は開催前に、レディオキューブ FM 三重「ゲツモク！」の中の、MIE リポートのコーナーで紹介してもらいました。レポーターの迫田藍子さんは、読みきかせのイベントに出演したことがあるなど、絵本に興味があるので、と、楽しそうに新刊絵本たちを眺めていかれました。



これ全部、新しい絵本！

さて、今回の新刊絵本。

「ねこの本が多い」「LGBT や家族の在り方を考える本に秀作が多い」「絵本を作るのが初めてのアーティスト、作家の本がすばらしい」というような特徴があるなあと感じました。

中でも目を引いて、思わず手に取るのが『**じゃない！**』。読んでもらって、おー！自分でもう一度読んで、おー！説明すると楽しみがなくなるので、これ以上は紹介できませんが・・・。

『**くろはおうさま**』もひときわ目を引く美しい絵本。黒い紙に浮き立つ黒い線の華やかさは、まさにおうさま。添えられた点字のでこぼこまで、表現として計算された絵本です。

美しい絵本としては、人気画家 junaida の『**の**』、細部の楽しい『**おーい、こちら灯台**』、夜の庭がきれいな『**夜のあいだに**』、おいしそうな『**のりまき**』が挙がりました。

そのほかに話題に上った本は、パンツ！に圧倒される

『**ぱんつさん**』。おすしの本『**みんなのおすし**』

『**まわるおすしやさん（こどものとも 2020年1年月号）**』。

絵本ではないけれど、家を背負って世界中歩いたその

記録が楽しい『**家をせおって歩く**』。工事現場の本、

『**こわす**』『**たてる**』は、セットで読みたい本です。

生き物が楽しいのは、チーターの『**タタタタ**』、

ねこの目が美しい『**なまえのないねこ**』、表紙のどアアップ

が大迫力『**ヒキガエルがいく**』、ことばあそびの『**とりづくし**』、赤ちゃんも楽しい『**だっぴ！**』など。



読んで、話して、楽しい時間

恋や愛、家族を思う絵本では、直木賞作家、辻村深月さんが文を書いた『すきって
いわなきやだめ?』、映画のような『ばらいろのかさ』、そう、そういうこともあり、
と素直に思える『マチルダとふたりのパパ』など。

クスッと面白くて、読みきかせをしてみたいな、と『おおかみのおなかのなかで』
『うみへいったちいさなカニカニ』『DJ YOYO』『みらいのえんそく』などが話題に。

センダックの『まどのそとのそのまたむこう』(旧『父さんがかえる日まで』(新)
(原題『Outside over there』))は、翻訳と出版社が変わり、原著も
一緒に読み比べてみました。

新刊が並ぶと、初めて見る本が多いので、絵本好きのベテランでも新発見にワクワクし、話が
弾みます。また、小さい子どものいる方からは、「今までは、自分の子どもの目線でしか本を選んで
なかったけれど、いろいろな本をみて、これは面白い!と思いました」という感想をいただきました。

★★★ 話題に出た絵本 ★★★

じゃない!	チョー ヒカル/作 フレーベル館
くろはおうさま	メネナ・コティン/文 ロサナ・ファリア/絵 サウザンブックス社
の	junaida/作 福音館書店
おーい、こちら灯台	ソフィー・ブラッコール/作 評論社
夜のあいだに	テリー・ファン&エリック・ファン/作 ゴブリン書房
のりまき	小西 英子/作 福音館書店
ぱんつさん	たなか ひかる/作 ポプラ社
みんなのおすし	はらぺこめがね/作 ポプラ社
まわるおすしやさん (こどものとも 20年1月号)	藤重ヒカル/作 福音館書店
家をせおって歩く かんぜん版	村上 慧/作 福音館書店
こわす	サリー・サットン/作 ブライアン・ラブロック/絵 福音館書店
たてる	サリー・サットン/作 ブライアン・ラブロック/絵 福音館書店
タタタ	りとう ようい/作 すずき出版
なまえのないねこ	竹下 文子/文 町田尚子/絵 小峰書店
ヒキガエルがいく	パク ジョンチェ/作 岩波書店
とりづくし	内田 麟太郎/作 石井聖岳/絵 すずき出版
だっぴ!	北村 直子/作 こぐま社
すきっていわなきやだめ?	辻村 深月/作 今日マチ子/絵 岩崎書店
ばらいろのかさ	アメリー・カロ/文 ジュリア・イェウ・ゴトバー/絵 福音館書店
マチルダとふたりのパパ	メル・エリオット/作 岩崎書店
おおかみのおなかのなかで	マック・バーネット/文 ジョン・クラッセン/絵 徳間書店
DJ YOYO	おおなり 修司/文 飯野和好/絵 絵本館
うみへいったちいさなカニカニ	クリス・ホートン/作 BL出版
みらいのえんそく	ジョン・ヘア/作 あすなろ書房

※新訳 モーリス・センダック/作

『まどのそとの そのまたむこう』(福音館書店) →『父さんがかえる日まで』(偕成社)



「おしゃべりえほんの会」は、年三回ほど開催しています。参加申し込みは不要で、どなたでも参加していただけます。お子さま連れの方も歓迎します。次回は7月開催予定です。